

2019年度 CrimRC_主な研究業績

>>調査対象:CrimRC兼任研究員(本学専任教員)および博士研究員

公表時期	種別	メンバー	タイトル・概要	査読付き論文	備考
2020/02/28	出版物(国内)	石塚 伸一 教授	「新時代の犯罪学——共生の時代における合理的刑事政策を求めて(龍谷大学社会科学研究所叢書)」(石塚伸一編著, 日本評論社, 2020)		
2019/05/25	学会報告(国内)	石塚 伸一 教授	日本刑法学会第97回大会(一橋大学) 分科会Ⅲ 「刑事司法における薬物依存への介入——再犯防止か? 社会的支援か?」司会		
2020/10/20	学会報告(国内)	石塚 伸一 教授	日本犯罪学会第46回大会(淑徳大学) セッションK(ラウンドテーブル)「刑事政策学の復権V」話題提供者		
2019/06/25	学会報告(海外)	石塚 伸一 教授	"Life imprisonment in Japan", Asian Criminological Society The 11th Annual Conference (Cebu City, Philippine) 2019年		
2019/06/25	学会報告(海外)	石塚 伸一 教授	"The New Recovery Scheme for Drug Addicts in Japan: Implementation of the"Entaku" Recovery Circle for a Variety of Addiction Behaviors", Asian Criminological Society The 11th Annual Conference (Cebu City, Philippine) 2019年6月		
2019/05/01	論文(国内)	石塚伸一 教授	刑事政策学の危機との創生・新時代の犯罪学: "つまずき"からの"立ち直り"の科学に寄せて, 社会科学研究年報 (49), 71, 2019-05		
2020/01/01	論文(国内)	石塚 伸一 教授	「社会復帰を目指す男性受刑者の健康実態: 医務受診に関するアンケート調査から」中谷 こずえ, 五十嵐 弘志, 石塚 伸一, 臼井 キミカ, 原田 英子, 岐阜保健大学紀要, 114-119頁, 2019	1	
2019/09/19	学会報告(海外)	石塚 伸一 教授	Thinking about Life Imprisonment: Which is more cruel the Death Penalty or Life Imprisonment?, European Society of Criminology Conference, 2019年9月 Belgium		
2020/02/28	出版物(国内)	福島教授	「圏藤重光研究 法思想・立法論、最高裁判事時代(龍谷大学社会科学研究所叢書)」(福島 至編著, 日本評論社, 2020)		
2019/04/01	論文(海外)	武田 俊信 教授	Psychometric properties of a sluggish cognitive tempo scale in Japanese adults with and without ADHD, Atten Defic Hyperact Disord	1	
2019/09/11	論文(国内)	武田 俊信 教授	「心理系大学生の司法・犯罪分野への意識・認知度調査」小正 浩徳, 廣橋 諒一, 武田 俊信, 日本心理学会大会発表論文集 83(0), 3A-036-3A-036, 2019	1	
2019/12/01	論文(国内)	武田 俊信 教授	武田 俊信・辻 由依: ADHD と SCT の臨床的独立性に関する研究—気質、自閉症傾向、睡眠、内在化障害 第60回児童青年精神医学会総会抄録, 沖縄, December, 2019.		
2019/12/01	論文(国内)	武田 俊信 教授	辻 由依・武田 俊信: 大学生のADHD傾向と睡眠障害 第60回児童青年精神医学会総会抄録, 沖縄, December, 2019.		
2020/09/13	学会報告(国内)	武田 俊信 教授	小正浩徳・廣橋諒一・武田俊信: 日本心理学会第83回大会(会場 立命館大学 大阪いばらきキャンパス)2019-09-13 09:00 - 11:00 一般研究発表(ポスター)3A-36「心理系大学生の司法・犯罪分野への意識・認知度調査」		
2019/10/12	学会報告(国内)	武田 俊信 教授	Shirama, T, Takeda, H, Ohta, & S. Toda, (2019) Atypical alert state control in ADHD adults: A pupillometry study. 49th Annual Meeting of Japanese Society of Neuropsychopharmacology.		
2019/12/07	学会報告(国内)	武田 俊信 教授	中島陽大・武田俊信: 成人の視覚認知機能における予備的検討 第60回児童青年精神医学会総会沖縄コンベンションセンター 沖縄県 2019.12.7		
2019/12/07	学会報告(国内)	武田 俊信 教授	中島陽大・前田真治・武田俊信: WAVES検査におけるASD群とADHD群の比較検討 第60回児童青年精神医学会総会 沖縄コンベンションセンター 沖縄県 2019.12.7		
2019/08/31	学会報告(国内)	打本 弘祐 准教授	打本弘祐「病む人々を支える仏教者の活動(臨床宗教師の立場から)」(日本仏教看護・ビハーラ学会シンポジウム「仏教から「いのち」のケアを問直す」)2019.8.31-9.1、東京・増上寺		
2019/09/15	学会報告(国内)	内手 弘太 講師	内手弘太「真宗本願寺派の教学と日本主義—梅原真隆を通して—」(日本宗教学会第78回学術大会・パネル発表「親鸞と日本主義の間」、2019.9.15、帝京科学大学)		
2020/03/01	出版物(国内)	内手 弘太 講師	内手弘太「前田慧雲—本願寺派宗学と西洋の対峙」(嵩満也、他編『日本仏教と西洋世界』法蔵館、2020.3刊行)		
2020/02/28	出版物(国内)	赤池 一将 教授	「刑事施設における医療をいかに改革するか(龍谷大学社会科学研究所叢書)」(赤池一将編著, 日本評論社, 2020)		
2019/04/20	論文(国内)	浜井 浩一 教授	浜井浩一「イタリアの少年司法制度と実務(法律家のための犯罪学入門第37回)」, 雑誌『季刊 刑事弁護』, 現代人文社 [編]		
2019/06/14	招待講演(海外)	浜井 浩一 教授	What's behind the low level of juvenile delinquency and its recent further drop in Japan?, International Conference on Youth and Cybercrime 2019年6月14日, 香港		
2019/07/20	出版物(国内)	浜井 浩一 教授	浜井浩一「法律家のための犯罪学入門(第38回)イタリアの少年司法における(治療的)共同体の役割」, 雑誌『季刊 刑事弁護』, 現代人文社 [編]		
2019/08/31	学会報告(国内)	浜井 浩一 教授	浜井浩一「少年法適用年齢の引下げを考える—犯罪統計の立場から—」(日本犯罪心理学会、2019.8.31、日本女子大学)		
2019/10/20	学会報告(国内)	浜井 浩一 教授	日本犯罪学会第46回大会(淑徳大学)「キャンベル共同計画の成果(キャンベル共同計画日本語ホームページから): 効果的な犯罪予防・犯罪者処遇(再犯防止)において何が、どこまで明らかとなっているのか」		
2019/12/12	学会報告(海外)	浜井 浩一 教授	"What's behind decreasing juvenile delinquency and increasing elderly crime in Japan?", Australian & New Zealand Society of Criminology Annual Conference (Australia) 2019年		
2019/05/01	論文(国内)	浜井 浩一 教授	イタリアの少年司法手続と非行少年処遇, 社会科学研究年報 (49), 173, 2019-05		
2019/10/01	論文(国内)	浜井 浩一 教授	浜井浩一「法律家のための犯罪学入門(第39回)犯罪統計からみた少年法適用年齢引下げの問題点」, 雑誌『季刊 刑事弁護』158-165, 現代人文社 [編]		
2020/02/	論文(国内)	浜井 浩一 教授	「犯罪学研究からみた非行防止における家族支援の重要性(特集 保護観察対象者の家族への支援)」浜井 浩一, 更生保護 71(2), 6-11, 2020-02		

2019年度 CrimRC_主な研究業績

>>調査対象:CrimRC兼任研究員(本学専任教員)および博士研究員

公表時期	種別	メンバー	タイトル・概要	査読付き論文	備考
2020/03/	論文(国内)	浜井 浩一 教授	「エビデンスからみた日本の刑事政策への提言(前編)キャンベル共同計画による系統的レビューを中心に」浜井 浩一, 犯罪学雑誌 = Acta criminologicae et medicinae lagalis Japonica 86(1), 3-14, 2020-03		
2019/10/01	論文(国内)	浜井 浩一 教授・津島 昌弘 教授	日本における女性の暴力被害の実態——EUとの共同調査『女性の日常生活の安全に関する調査』の結果から(伊藤康一郎先生追悼論文集), 浜井浩一, 津島昌寛, 我藤論, 法学新報 125(11/12) 227 - 254 2019年		招待論文
2019/06/26	学会報告(海外)	津島 昌弘 教授	Sexual Harassment in Japan: Results of the Survey of Women's Safety in Daily Life", Asian Criminological Society The 11th Annual Conference (Cebu City, Philippine) 2019年		
2019/09/19	学会報告(海外)	津島 昌弘 教授	Sexual Harassment in Japan: Results of the Survey of Women's Safety in Daily Life, European Society of Criminology Conference, 2019年9月 Belgium		
2020/03/01	論文(国内)	井上 善幸 教授	「行文類」における『十住毘婆沙論』引文の意義について(龍溪章雄教授定年退職記念特集号: 浄土仏教と親鸞教学), 眞宗學 (141・142), 145-163, 2020-03	1	
2020/03/01	論文(国内)	井上 善幸 教授	巻頭言: この1年間を振り返って, 矯正講座 (40), 1-4, 2020		
2019/09/01	出版物(国内)	金 尚均 教授	「シリーズ: 新・総合特集シリーズ(別冊法学セミナー) ヘイトスピーチに立ち向かう」[刑法]ヘイトスピーチ解消法改正の可能性と刑事規制, 法学セミナー編集部 編, 日本評論社, 2019.9		
2019/09/30	論文(国内)	金 尚均 教授、玄 守道 教授	ヴァルター・グロップ『刑法総論』(第4版、2015年)(11): (Waller Gropp, Strafrecht Allgemeiner Teil. 4. Auflage. 2015), 金 尚均, 玄 守道(監訳), 龍谷法学 52(2), 211, 2019-09-30		
2019/11/01	論文(国内)	金 尚均 教授	「ドイツにおける反差別法制(特集 諸外国における差別禁止法をめぐる動向と運用状況)」, 部落解放研究: 部落解放・人権研究所紀要 (211), 15-30, 2019-11		
2019/12/15	出版物(国内)	金 尚均 教授	「インターネットとヘイトスピーチ ドイツを中心としたヨーロッパ諸外国におけるSNS上のヘイトスピーチ対策 金尚均(龍谷大学法学部教授), 第二東京弁護士会人権擁護委員会 編, 現代人文社, 2019.12		
2019/10/01	出版物(国内)	齋藤 司 教授	齋藤司『刑事訴訟法の思考プロセス』(日本評論社、2019年)		
2020/01/01	論文(国内)	齋藤 司 教授	齋藤司「再審請求手続における裁判所の権限と責務」法律時報92巻1号(2020年)81頁以下		
2020/01/01	論文(国内)	齋藤 司 教授	齋藤司「全面証拠開示論の再検討——憲法論・政策論の二元的根拠論の試論的提唱」季刊刑事弁護101号(2020年)45頁以下		
2020/02/	出版物(国内)	齋藤 司 教授	團藤重光研究「流山事件最高裁決定と團藤重光補足意見の意義と特徴」306-336 日本評論社		分担執筆
2019/	論文(国内)	齋藤 司 教授	井戸田刑事訴訟法理論と「当事者主義」犯罪と刑罰 (28) 109 - 130		
2020/03/01	論文(国内)	齋藤 司 教授	齋藤司「証拠の保管・管理の在り方」法律時報92巻3号		
2020/03/01	論文(国内)	齋藤 司 教授	齋藤司「議会の自己決定義務」と『法律の留保原則』, そして『強制処分法定主義』の意義」犯罪と刑罰29号		
2019/04/	論文(国内)	玄 守道 教授	死亡時期に関する錯誤[横浜地裁平成28.5.25判決] 新・判例解説 watch : 速報判例解説 24, 157-160		
2019/11/	論文(国内)	玄 守道 教授	刑事法学の動き 天田悠『治療行為と刑法』 法律時報 91(12), 125-130		
2019/12/20	論文(国内)	玄 守道 教授	趙炳宣「韓国の性暴力犯罪に関する法と政策の現況と展望(1)」龍谷法学 52(3), 937		
2020/03/12	論文(国内)	玄 守道 教授	趙炳宣「韓国の性暴力犯罪に関する法と政策の現況と展望(2・完)」龍谷法学 52(4), 173		
2019/08/31	論文(国内)	中根 真 教授	中根真「保育児名義貯金という家庭支援—家庭教育の刷新戦略として—」日本保育学会『保育学研究』第57巻1号, 2019年8月31日発行	1	
2020/03/15	論文(国内)	中根 真 教授	「幼児理解と教育相談」をどのように教えるか?—新任保育者研究の知見をふまえて— 龍谷教職ジャーナル (7) 1 - 16		
2019/05/18	招待講演(国内)	中根 真 教授	「保護者支援を問いなおす—保育の先人たちを鏡として—」奈良県宇陀市幼児教育研究会全体研修会 (2019年5月18日、於: 農林会館、市内幼稚園・保育所(園)・こども園勤務の職員約90名対象)		
2020/01/01	論文(国内)	吉川 悟 教授	吉川悟: 「対応困難な家族」をつくらぬ家族支援の考え方、看護技術、Vol.65 No.5, pp.6-8		
2020/01/01	論文(国内)	吉川 悟 教授	吉川悟: 家族療法のケースフォーミュレーション、精神療法、増刊第6号、pp.52-59		
2019/08/31	出版物(国内)	赤津 玲子 准教授	「みんなのシステム論 対人援助のためのコラボレーション入門」, 赤津玲子、田中究、木場律志編著, 日本評論社		
2019/04/30	出版物(国内)	赤津 玲子 准教授	「問題を抱えた生徒・家族を支援する」, pp.131-133, 保健総合大百科<中・高校編>、少年写真新聞社		
2019/06/	出版物(国内)	赤津 玲子 准教授	システムズアプローチによるスクールカウンセリングシステム論からみた学校臨床 金剛出版		
2019/12	論文(国内)	赤津 玲子 准教授	犯罪をした人が自ら「今ここを生きる」ために: 処遇における法的地位・処遇論と心理職による支援のあり方(法と心理学第19回大会ワークショップ) 法と心理 = Japanese journal of law and psychology 19(1), 40-46 森久 智江, 相澤 育郎, 斧原 藍, 赤津 玲子		
2020/6	出版物(国内)	井上 見淳 准教授	お盆(担当: 先立たれた方を想う)本願寺出版		共著
2020/03/	論文(国内)	井上 見淳 准教授	小児往生論の研究(下)論争の整理と意義について, 眞宗學 = Journal of Shin Buddhist Studies (141・142), 187-213		
2019/11/	論文(国内)	佐々木准教授	深励所持の玄—『無量寿経記』(龍谷大学図書館蔵)をめぐって 龍谷大学論宗 (494)		
2019/11/12	学会報告(国内)	佐々木准教授	無量寿経註釈集成とその応用について 第73回眞宗学会大会		
2020/03/	論文(国内)	佐々木准教授	『無量寿経』の註釈書研究とその応用について(龍溪章雄教授定年退職記念特集号: 浄土仏教と親鸞教学) 眞宗學 = Journal of Shin Buddhist Studies (141) 215 - 238		

2019年度 CrimRC_主な研究業績

>>調査対象:CrimRC兼任研究員(本学専任教員)および博士研究員

公表時期	種別	メンバー	タイトル・概要	査読付き論文	備考
2020/03/	論文(国内)	能美 潤史 准教授	「御文章」における「厄入道」の検討：一語説・二語説をめぐって(龍溪章雄教授定年退職記念特集号：浄土仏教と親鸞教学) 眞宗學 = Journal of Shin Buddhist Studies (141・142), 281-296		
2019/07/	出版物(国内)	伊東 秀章 講師	システムズアプローチによるスクールカウンセリングシステム論からみた学校臨床[第二版]-伊東 秀章(担当:共編者(共編著者)), 金剛出版		
2019/08/	出版物(国内)	伊東 秀章 講師	「みんなのシステム論 対人援助のためのコラボレーション入門」, 赤津玲子、田中究、木場律志編著, 伊東 秀章(担当:分担執筆, 範囲:スクールカウンセリングに活かすシステム・シンキング), 日本評論社		分担執筆
2019/09/30	出版物(国内)	伊東 秀章 講師	「臨床言語心理学の可能性」編著, 伊東 秀章(担当:分担執筆, 範囲:家族療法に対する分析), 晃洋書房		分担執筆
2019/06/29	学会報告(国内)	伊東 秀章 講師	「不登校の小学生女兒と母親への介入—指示と協働をどう考えるか—」, 一般社団法人日本家族療法学会 第36回北海道大会		
2019/08/21	学会報告(国内)	伊東 秀章 講師	「不登校児とその両親へのシステムズアプローチ-面接途中から変化が停滞した事例-」, 日本ブリーフサイコセラピー学会 第29回群馬大会		
2020/01/	論文(国内)	打本 弘祐 准教授	「アメリカにおける臨床牧会教育と真宗僧侶」打本 弘祐, 眞宗研究: 眞宗連合學會研究紀要 = The Shinshu kenkyu : Journal of Shinshu studies 64, 103-124		
2020/03/	論文(国内)	打本 弘祐 准教授	「ビハラー活動の現在(龍溪章雄教授定年退職記念特集号: 浄土仏教と親鸞教学)」打本 弘祐, 眞宗學 = Journal of Shin Buddhist Studies (141・142), 239-262		
2020/03/	出版物(国内)	打本 弘祐 准教授	「浄土仏教と親鸞教学 眞宗学論叢14」龍谷大学眞宗学会 / 編, 打本 弘祐(担当:分担執筆, 範囲:ビハラー活動の現在), 永田文昌堂	1	
2019/10/	論文(国内)	廣橋助手	「心理系大学生の司法・犯罪分野への意識・認知度調査」小正 浩徳, 廣橋 諒一, 武田 俊信, 日本心理学会大会発表論文集 83(0), 3A-036-3A-03		分担執筆
2019/06/01	論文(国内)	廣橋助手・吉川 悟 教授	問題経過の長い事例に対して新しい枠組みを導入した一事例 日本家族療法研究 36(1) 17 - 17		
2019/	論文(国内)	廣橋助手	「大学院生が心理実習に取り組む際の意識とサポートに関する研究」廣橋 諒一, 龍谷大学論集(第494号) 2019年		
2019/07/	出版物(国内)	廣橋助手	「システムズアプローチによるスクールカウンセリング」吉川 悟, 赤津玲子, 伊東 秀章(担当:共著, 範囲:第IV部 第6章 教員のエンパワーメント), 金剛出版		分担執筆
2019/09/13	学会報告(国内)	廣橋助手	「心理系大学生の司法・犯罪分野への意識・認知度調査」小正 浩徳, 廣橋 諒一, 武田 俊信, 日本心理学会第83回大会		
2020/03/	論文(国内)	小正 浩徳 准教授	「心理職養成におけるデス・エデュケーション(死生観教育)のあり方の検討」小正 浩徳, 龍谷大学大学院臨床心理相談室紀要(16) 1-6		
2019/06/	学会報告(国内)	小正 浩徳 准教授	対人援助職養成を踏まえた「死」を考える講義, 小正浩徳, 滋野井一博, 友久久雄: 日本心理臨床学会第38回大会		
2019/06/	学会報告(国内)	小正 浩徳 准教授	「心理系大学生の司法・犯罪分野への意識・認知度調査」小正 浩徳, 廣橋 諒一, 武田 俊信, 日本心理学会第83回大会		
2019	論文(国内)	内手 弘太 講師	近代眞宗教学史の研究——本願寺派における教学近代化の系譜 博士学位請求論文	1	
2019/9/15	学会報告(国内)	内手 弘太 講師	眞宗本願寺派の教学と日本主義——梅原真隆を通して 日本宗教学会第78回学術大会 パネル発表「親鸞と日本主義の間」		
2020/03/	論文(国内)	内手 弘太 講師	「一九三〇年前後における西本願寺教団の動向とその思想: 布教研究所と「思想問題」(龍溪章雄教授定年退職記念特集号: 浄土仏教と親鸞教学)」, 内手 弘太, 眞宗學 = Journal of Shin Buddhist Studies (141) 347 - 367	1	
2020/03/	論文(国内)	内手 弘太 講師	「戦後親鸞論と眞宗教学——「信仰と実践」をめぐる議論」, 内手弘太, 浄土眞宗総合研究(第13号) 61 - 85	1	
2020/3	出版物(国内)	内手 弘太 講師	日本仏教と西洋世界 嵩, 満也, 吉永, 進一, 碧海, 寿広(担当:分担執筆, 範囲:前田慧雲——本願寺派宗学と西洋の対峙) 法蔵館		
2020/3	論文(国内)	内手 弘太 講師	眞宗本願寺派の教学と日本主義 —梅原真隆を通して—(発表要旨) 宗教研究 93巻別冊		
2019/06/01	論文(海外)	ディビッド・ブルースター 研究員	Establishing a new Criminology Research Partnership between Ryukoku University and Cardiff University: Final Report David Brewster, Trevor Jones		
2019/07/01	論文(海外)	ディビッド・ブルースター 研究員	Distinctly divergent or hanging onto English coat-tails? Drug policy in post-devolution Wales, David Brewster, Robert Jones, Criminology & Criminal Justice 19(3) 364 - 381 2019年7月	1	
2019/09/01	論文(海外)	ディビッド・ブルースター 研究員	Not Wired Up? The Neuroscientific Turn in Youth to Adult (Y2A) Transitions Policy, Youth Justice 2019年9月	1	
2020/02/28	出版物(国内)	ディビッド・ブルースター 研究員	「イギリスの犯罪学: カーディフからの報告」, 「新時代の犯罪学——共生の時代における合理的刑事政策を求めて(龍谷大学社会科学研究所叢書)」(石塚伸一編著, 日本評論社, 2020)		
2019/05/01	学会報告(海外)	ディビッド・ブルースター 研究員	Migattena Ponchu (The Selfish Drug Addict)? Culturing Responses to Illegal Drug Use in Japan, ディビッドブルースター, International Society for the Study of Drug Policy Conference 2019年5月 香港		
2019/06/26	学会報告(海外)	ディビッド・ブルースター 研究員	The Dispositions and Tendencies of Drug Treatment in Japan, ディビッドブルースター, 相良 翔, Asian Criminological Society The 11th Annual Conference (Cebu City, Philippine) 2019年		
2019/10/15	学会報告(海外)	ディビッド・ブルースター 研究員	Drug Treatment in Japan: An Overview ディビッドブルースター, 相良 翔 International Society for the Study of Drug Policy, Asia Regional Meeting		
2019/11/01	出版物(国内)	牧野 雅子 研究員	「痴漢とはなにか: 被害と冤罪をめぐる社会学」牧野 雅子, エトセトラブックス 2019年11月		
2020/01/01	出版物(国内)	牧野 雅子 研究員	女性の生きづらさ: その痛みを語る(信田さよ子編), 牧野雅子「性暴力加害者の責任を問う、とは」, 日本評論社 2020年		
2019/06/16	学会報告(国内)	牧野 雅子 研究員	「痴漢」事件の公的数値を読む, 日本女性学会		

2019年度 CrimRC_主な研究業績

[>>調査対象:CrimRC兼任研究員\(本学専任教員\)および博士研究員](#)

公表時期	種別	メンバー	タイトル・概要	査読付き論文	備考
2019/12/08	学会報告(国内)	牧野 雅子 研究員	「いわゆる迷惑防止条例の制定と運用について—痴漢事案を中心に、ジェンダー法学会		
2019/12/18	論文(国内)	牧野 雅子 研究員	痴漢問題はなぜ「冤罪被害」ばかり語られるのか 女性を「嘘つき」と罵る冤罪論者たち PRESIDENT Online		招待あり
2019/	出版物(海外)	上田 光明 研究員	Fifty years of Causes of delinquency : the criminology of Travis Hirschi, Oleson, James C., Costello, Barbara J.(担当:分担執筆, 範囲:Mitsuaki Ueda & Hiroshi Tsutomi. Chapter 11 "A Test of Hirschi's Redefined Control Theory in the Far East".), Routledge 2019年		
2020/02/28	出版物(国内)	上田 光明 研究員	「バルカン地域の犯罪学—クロアチアを中心に(123-132)」,「新時代の犯罪学—共生の時代における合理的刑事政策を求めて(龍谷大学社会科学研究所叢書)」(石塚伸一編著, 日本評論社, 2020)		

11

▼2019年度集計

論文(国内)	44	→うち査読付き論文:8
論文(海外)	4	→うち査読付き論文:3
出版物(国内)	23	
出版物(海外)	1	
学会報告(国内)	19	
学会報告(海外)	9	
招待講演(国内)	1	
招待講演(海外)	1	
計	102	